

財政非常事態宣言

急速な高齢化を背景とする社会保障費の増加など、避けられない歳出の増加により、全国的に自治体経営は厳しさが増してきております。

こうした中、本町においては、合併による地方交付税の段階的縮減により自主財源が減少しているにも関わらず、十分な見直しがないまま、従前どおりの行政経営が維持されている状況にありました。

このような背景から、平成29年度から令和3年度までの間、決算における実質的な収支は5年連続の赤字を計上し、財政構造の硬直性を示す指標である「経常収支比率」も、令和3年度決算で全国ワースト11位となる98.1%を記録してしまいました。

令和4年度決算では、実質的な収支の6年連続の赤字は回避できたものの、「経常収支比率」は昨年度から更に0.1ポイント上昇してしまい、本町の財政構造がより硬直化している現状が浮き彫りになりました。このままの推移では、最低限の行政サービスの維持すら困難な状況に陥ることが予測され、本町の財政状況は、今まさに瀬戸際に立たされています。

行政だけでこの難局を突破することは困難であり、町民の皆さまとこの危機的な状況を共有することが不可欠であります。

このため、財政健全化に向けた抜本的・集中的な取り組みのスタートの年とすることをここに宣言いたします。

現在、職員一丸となって行財政改革推進計画の策定を進めているところであり、この計画に基づき、事務事業の見直しや公共施設のあり方検討などを実施し、抜本的・集中的な行財政改革を推進していく所存です。

この硬直した財政構造を回復局面に転じさせるためには、大きな転換が必要となり、町民の皆さまの御協力なしには到底成し遂げることはできませんが、私たち全ての市川三郷町民が力を合わせ、一步一步、前に向かって歩いていくことができれば、不可能なことなど決してありません。

この難局を乗り越え、産業振興による経済活性、新たなまちづくりによる投資意欲の高揚、人口減少対策による教育・子育て環境の充実、健康長寿・福祉・介護環境の充実など真の住民福祉の向上と幸せが実感できるウェルビーイングの町づくりが実現されるよう、オール市川三郷町の総力を尽くし、この危機を克服・突破すべく、町民の皆さまの御理解・御協力をお願い申し上げます。

令和5年9月19日

市川三郷町長 遠藤 浩

